

2016 年度生用 カリキュラム

		1セメ(春)	2セメ(秋)	3セメ(春)	4セメ(秋)	5セメ(春)	6セメ(秋)	
法律基本 科目群 (69 単位 必修)	公法系 (15 単位 必修)	憲法Ⅰ④ (基本的人権)	憲法Ⅱ② (憲法総論・統治機構論)		憲法演習Ⅰ② (判例演習)	憲法演習Ⅱ① (事例演習)		
				行政法② (行政法全般)	行政法演習Ⅰ② (判例演習)	行政法演習Ⅱ② (事例演習)		
	民事系 (39 単位 必修)	民法Ⅰ② (民法総則)	民法Ⅳ② (物権法)					
		民法Ⅱ② (債権総論)	民法Ⅴ② (担保物権法)	民法Ⅶ① (家族法)				
		民法Ⅲ② (契約法)	民法Ⅵ② (法定債権)					
		民法基礎演習Ⅰ① (民法総則・債権総論・契約法)	民法基礎演習Ⅱ① (物権法・担保物権法・法定債権)	民法演習Ⅰ③ (民法総則・物権法・担保物権法・判例演習)	民法演習Ⅱ③ (債権総論・債権各論・判例演習)	民法演習Ⅲ① (事例演習)	民法演習Ⅳ① (事例演習)	
			民事訴訟法Ⅰ③ (上訴再審を含む)	民事訴訟法Ⅱ① (複雑訴訟・上訴)	民事訴訟法演習Ⅰ② (判例演習)	民事訴訟法演習Ⅱ① (事例演習)	民事訴訟法演習Ⅲ① (事例演習)	
	刑事系 (15 単位 必修)	刑事法Ⅰ③ (刑法総論)	刑事法Ⅱ③ (刑法各論)	刑法演習② (判例事例演習)				刑事法総合② (刑事法判例事例演習)
		刑事訴訟法Ⅰ②	刑事訴訟法Ⅱ①		刑事訴訟法演習② (判例事例演習)			
	法律実務基礎科目群 (必修4科目8単位を 含む5科目10単位 以上選択)	法情報調査①		法情報調査①				
実務法学入門②			法文書作成①			法文書作成①		
			要件事実・事実認定Ⅰ②	要件事実・事実認定Ⅱ②			要件事実・事実認定Ⅱ② 公法実務の基礎②	
						民事訴訟実務の基礎②		
						刑事訴訟実務の基礎②		
						民事模擬裁判①		
						刑事模擬裁判①		
						法曹倫理②		
						ローヤリング・クリニック②		
						エクスターンシップA① エクスターンシップB②		
基礎法学・隣接科目群 (必修1科目2単位を含む 2科目4単位以上選択)	法哲学②	外国法の基礎②	法哲学②	外国法の基礎②			外国法の基礎②	
	法史学②		法史学②			法史学②		
	公共政策論②	実務法曹と情報ネットワーク①	公共政策論②	実務法曹と情報ネットワーク①		公共政策論②	実務法曹と情報ネットワーク①	
展開・先端科目群 (14 単位以上選択)	プログラム		3・5セメスター (春学期)		4・6セメスター (秋学期)			
	市民社会と法		労働法Ⅱ②		住宅法②	メディア法②		
			環境法Ⅱ②		消費者法②	環境法Ⅰ②		
			警察法②		労働法Ⅰ②	犯罪被害者と法②		
			民事執行・保全法②		宗教法②			
	国際社会と法		アジア世界と法②	アメリカ法②	国際社会における 平和と人権②	国際法②		
			中国法②		国際私法②			
	経済社会と法		ビジネス法務・ 国際法務②	租税法②	倒産法Ⅰ②	知的財産法②		
			保険法②	倒産法Ⅱ②	経済法②			
	全プログラム共通				リサーチペーパー②			
				特殊テーマ講座A①				
				特殊テーマ講座B②				

※展開・先端科目群の配当セメスターは年度によって変更することがある。 ※科目名の後の○付き数字は単位数を表す。

◎修了要件単位数 (標準3年コースの場合)

表中の必修の要件を満たした上、104単位以上修得のこと。

◎科目区分 濃い網掛けは必修科目、その他は選択科目。

◎備考

- 1 本学の工学研究科が置く次の科目は、工学研究科との合意に基づき、本研究科の展開・先端科目群の一つとして扱う。
履修年次は、いずれも2・3年次とする。「特別講義 知的財産(2単位)」、「特別研修(2単位)」
- 2 「エクスターンシップA」と「エクスターンシップB」を併せて履修することはできない。
- 3 「リサーチペーパー」の研究対象は、展開・先端科目群の枠を超えて、自由に設定できる。
- 4 「特殊テーマ講座」を、学生は最大4科目まで履修することができる。